

(19)日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11)特許出願公開番号

特開平6-144324

(43)公開日 平成6年(1994)5月24日

(51)Int.Cl.⁵

B 6 2 J 23/00

識別記号

B

庁内整理番号

F I

技術表示箇所

審査請求 未請求 請求項の数1(全 3 頁)

(21)出願番号 特願平4-293485

(22)出願日 平成4年(1992)10月30日

(71)出願人 000002082

スズキ株式会社

静岡県浜松市高塚町300番地

(72)発明者 前田 英治

静岡県浜松市高塚町300番地 スズキ株式
会社内

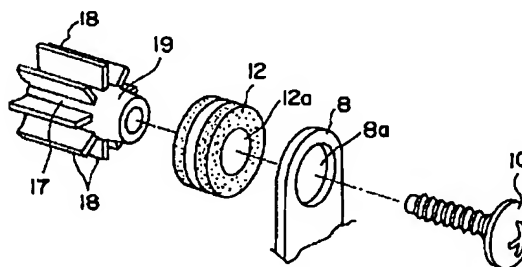
(74)代理人 弁理士 波多野 久 (外1名)

(54)【発明の名称】 2輪車のハンドルカバー取付構造

(57)【要約】

【目的】ハンドルカバーの取付における浮動支持に要する部品点数を削減し、コストの低減と組付工数の減少を図った2輪車のハンドルカバー取付構造を提供することを目的とする。

【構成】2輪車のハンドルカバー取付構造は、ハンドルカバー側に形成されるボス部17の周囲に複数枚のリップ18、18…を突設し、このボス部17の端部にゴム製クッション12の内孔12aに嵌る円筒部19を一体に連設し、前記クッション12をハンドルバー1のブラケット8の取付穴8aに嵌着すると共にクッション12の内孔12aに前記円筒部19を嵌着し、この円筒部19の外端からネジ10を挿入してボス部17に締着するようにしたものである。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 ハンドルカバー側に形成されるボス部の周囲に複数枚のリップを突設し、このボス部の端部にゴム製クッションの内孔に嵌る円筒部を一体に連設し、前記クッションをハンドルバーのブラケットの取付穴に嵌着すると共にクッションの内孔に前記円筒部を嵌着し、この円筒部の外端からネジを挿入してボス部に締着するようにしたことを特徴とする2輪車のハンドルカバー取付構造。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】この発明は2輪車のハンドルカバー取付構造に関する。

【0002】

【従来の技術】2輪車のハンドル部は、図3に分解図を示すようにハンドルバー1にスロットルグリップ2、グリップ3、フロントブレーキレバー4、リヤブレーキレバー5が組み付けられ、これにリヤハンドルカバー6およびフロントハンドルカバー7が組み付けられる。

【0003】そしてこれらハンドルカバー6、7は、ハンドルバー1に設けられたブラケット8、9に挿通するネジ10、11により締め付けて取り付けられる。

【0004】このようなハンドル部の組立体において、ハンドルカバーにはヘッドランプ、ターンシグナル、スピードメータ等が取り付けられ、これらの電球をエンジンの振動から保護するためにハンドルバー1に対しハンドルカバー6、7を浮動支持とする必要がある。

【0005】従来の浮動支持構造は、図3のA部の構造を図4に分解図で、図5に組立状態の断面図で示すように、H形断面のゴム製クッション12の周溝をハンドルバー1のブラケット8の取付穴8aに嵌着し、このクッション12の内孔12aにスペーサ13を嵌め、クッション12の両側面にワッシャ14、15を当て、一方のワッシャ14をハンドルカバー6側のボス部16の端面に当接させ、他方のワッシャ15からネジ10を通して前記ボス部16に締め込んで取り付けようとしている。これによりハンドルバー1に伝わるエンジンの振動はゴム製クッション12により吸収されてハンドルカバーに伝わらず、ハンドルカバーに取り付けられる電球を保護する浮動支持となる。

【0006】

【発明が解決しようとする課題】しかしながら、従来の浮動支持構造では、ゴム製クッション12の他にスペーサ13、2枚のワッシャ14、15を必要とし、そのため部品点数が多く、コストが掛かると共に部品点数が多いため組付に多くの工数が掛かるという問題点があった。

【0007】この発明は、上述した事情を考慮してなされたもので、ハンドルカバーの取付における浮動支持に要する部品点数を削減し、コストの低減と組付工数の減

少を図った2輪車のハンドルカバー取付構造を提供することを目的とする。

【0008】

【課題を解決するための手段】上記課題を解決するため、この発明に係る2輪車のハンドルカバー取付構造は、ハンドルカバー側に形成されるボス部の周囲に複数枚のリップを突設し、このボス部の端部にゴム製クッションの内孔に嵌る円筒部を一体に連設し、前記クッションをハンドルバーのブラケットの取付穴に嵌着すると共にクッションの内孔に前記円筒部を嵌着し、この円筒部の外端からネジを挿入してボス部に締着するようにしたものである。

【0009】

【作用】ボス部に一体に連設された円筒部をゴム製クッションの内孔に嵌着する一方、このクッションをハンドルバーのブラケットの取付穴に嵌着した後、この円筒部の外端からネジを挿入してボス部に締着することによりハンドルカバーをハンドルバーに固定することができる。固定した後はハンドルバーとハンドルカバーとの間にゴム製クッションが介在するので、従来と同様にエンジンの振動がハンドルカバーに伝わることを防ぐ浮動支持構造となる。

【0010】

【実施例】以下この発明の実施例を図面について説明する。

【0011】図1に分解図を示すように、ハンドルカバー側に形成されるボス部17はその周面軸方向に複数枚のリップ18、18…が突設され、このボス部17の端部にはゴム製クッション12の内孔12aに可及的に嵌合する円筒部19が一体に形成されており、この円筒部19の内径はネジ10が挿入できる寸法とされている。

【0012】したがって、ゴム製クッション12の周溝をハンドルバー1のブラケット8の取付穴8aに嵌着し、その内孔12aにボス部17の円筒部19を挿入し、次いで円筒部19の外端からネジ10を挿入してボス部17に締結すれば、図2のようにゴム製クッション12がボス部17のリップ18、18…の端面に当たってクッション12の押えとなって組み付けられる。

【0013】組付後はハンドルバー1とハンドルカバーとはゴム製クッション12を介して取り付けられるので、このクッション12がエンジン振動を遮断し、ハンドルカバーに伝わることはない。また複数のリップ18、18…はボス部17の補強の役目をし、ボス部17を細くしても丈夫にできる。

【0014】

【発明の効果】以上のようにこの発明によれば、従来のスペーサや2枚のワッシャを用いる必要がないので部品点数が大幅に削減され、コストダウンを図ることができる共に組付時の工数が減少し、併せて重量の軽減になるなどの効果がある。

3

4

【図面の簡単な説明】

【図1】この発明の一実施例を示す分解斜視図。

【図2】この発明の一実施例の組付状態を示す断面図。

【図3】2輪車のハンドル部の分解図。

【図4】従来の浮動支持構造を示す分解斜視図。

【図5】従来の浮動支持構造の組付状態を示す断面図。

【符号の説明】

1 ハンドルバー

6 リヤハンドルカバー

7 フロントハンドルカバー

8, 9 ブラケット

10, 11 ネジ

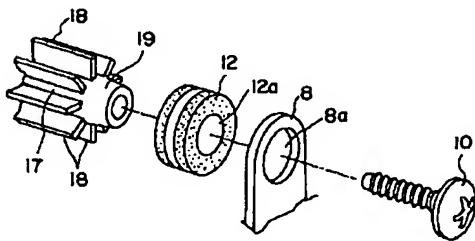
12 ゴム製クッション

16, 17 ボス部

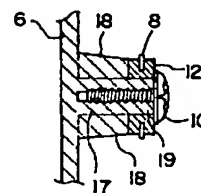
18 リブ

19 円筒部

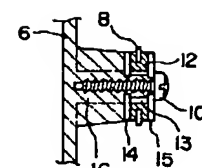
【図1】



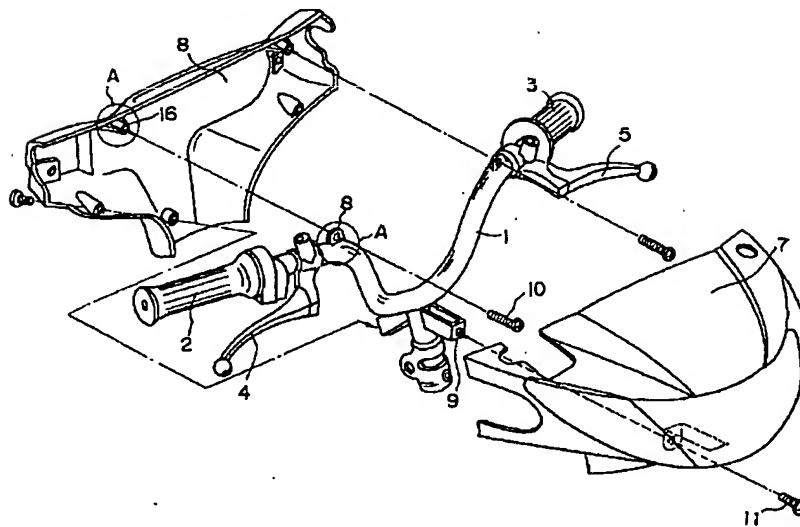
【図2】



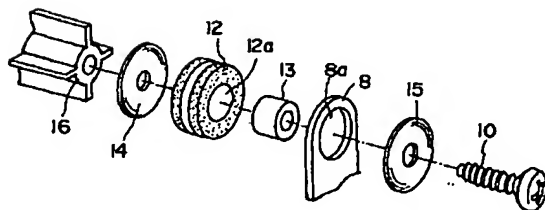
【図5】



【図3】



【図4】



PAT-NO: JP406144324A
DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 06144324 A
TITLE: HANDLE COVER FITTING STRUCTURE FOR TWO-WHEELER
PUBN-DATE: May 24, 1994

INVENTOR-INFORMATION:

NAME
MAEDA, EIJI

ASSIGNEE-INFORMATION:

NAME	COUNTRY
SUZUKI MOTOR CORP	N/A

APPL-NO: JP04293485

APPL-DATE: October 30, 1992

INT-CL (IPC): B62J023/00

US-CL-CURRENT: 74/489, 74/551.8

ABSTRACT:

PURPOSE: To reduce the number of parts to be required for the floating support at the time of fitting a handle cover, and to reduce a cost, and to reduce the number of fitting process.

CONSTITUTION: In the fitting structure of a handle cover for two-wheeler, plural ribs 18, 18,... are projected from the periphery of a boss part 17 formed in the handle cover side, and the end of this boss part 17 is continuously formed with a cylindrical part 19 to be fitted in an inner hole 12a of a rubber cushion 12, and the cushion 12 is fitted in a fitting hole 8a of a bracket 8 of a handle bar, and the cylindrical part 19 is fitted in the inner hole 12a of the cushion 12, and a screw 10 is inserted from the

outer end

of the cylindrical part 19, and fastened to the boss part 17.

COPYRIGHT: (C)1994,JPO&Japio

**This Page is Inserted by IFW Indexing and Scanning
Operations and is not part of the Official Record**

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:

- ☐ BLACK BORDERS
- ☐ IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- ☐ FADED TEXT OR DRAWING
- ☐ BLURRED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING
- ☐ SKEWED/SLANTED IMAGES
- ☐ COLOR OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS
- ☐ GRAY SCALE DOCUMENTS
- ☐ LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT
- ☒ REFERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY
- ☐ OTHER: _____

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

As rescanning these documents will not correct the image problems checked, please do not report these problems to the IFW Image Problem Mailbox.